



やってみようボランティア ～学生の想いに迫る～

2018年11月11日(日)、NPOきっかけ塾「やってみようボランティア！」を開催しました。ゲストの東北学院大学4年立花亮人さん^{あきと}と多賀城市ジュニアリーダー「エステバン」OB佐藤諒さん、講座に参加した10人の高校生・大学生がボランティアをはじめのきっかけなどを話しました。

ゲスト・参加者の意見
…活動に関心を持ったきっかけは？

活動している人の姿がカッコよかった

就活で有利になると思った

ボランティア自体に興味があった

学校の先生に紹介された

ゲストからのアドバイス

きっかけは何でもいい。
迷ったらとりあえず
やってみることが大事！

ゲストの意見…活動を続けるモチベーションはどこにある？

さまざまな人と出会う

普段の生活ではできない経験ができる

ボランティアをすることで学生と地域をつなげられる

損得ではない信頼関係を結べる

活動先から「ありがとう」と言ってもらえる

ゲストからのアドバイス

できないことは「NO」といいいい。
無理しないこと。



当日の様子はブログ「たがさぼPress」にも掲載しています。
2018年11月18日(日)掲載 NPOきっかけ塾「やってみようボランティア！」開催しました

Hint from "Tagasapo Press"

ヒント from たがさぼPress

たがさぼのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します！

2018年11月8日(木)掲載

心に寄り添う傾聴

2018年11月13日(火)掲載

イベント・講座の広報
～チラシデザイン編～

2018年11月20日(火)掲載

ちょっとだけ物事を
論理的に考えてみる
「三角ロジック」

“たがさぼPress”とは？

たがさぼスタッフによるブログ。興味がわいたら「たがさぼPress」へ！
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>



「tag」のアンケートへ
ご協力をお願いします！



今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、
ぜひご協力をお願いします！
また、以下のような情報もお待ちしております！
○自分たちの団体を取材してほしい
○ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
○こんな話題を取り上げてほしい

Notice from Tagasapo

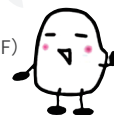
たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

「Tagajo Sustainable Relationship」参加者募集 (TSR会議) Vol.2

「多賀城発、ローカル版CSRで新たな地域連携モデルを！」を合言葉に、
今回は「障害者×企業×地域」をテーマに開催。NPO法人ピープルデザイン研究所(東京)のディレクター・田中真宏さんによるトークや、だれも取り残さない社会をつくるべく障がい者雇用に取り組んでいる企業の方をお迎えしてのシンポジウムを行います。

日時 2019年1月22日(火)午後2時～午後5時
会場 PUBLIC HOUSE多賀城(蔦屋書店・多賀城市立図書館3F)
費用 無料
定員 30名
申込み 多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話、FAXにて
問合せ 022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)



地域に羽ばたくジュニアリーダー

多賀城市ジュニアリーダー「エステバン」は、イベントやキャンプで子どもたちと遊んだり、まとめ役となったりする中高生のお兄さん・お姉さん。今年で設立36年となるエステバンのOBには、地域づくりで活躍している人々もたくさんいます。今回はその中からOB3名にお話をうかがいました。

村上 颯飛^{はやと}さん (在籍2013年8月～2015年12月)



小学生の時に「スポーツてらこや」に参加した際、エステバンにお世話になったことがきっかけで活動を始めました。

活動を通して、自分で状況判断して動けるようになったり、メンバーの個性を発

揮できる役割分担など、人をマネジメントする力がついたように思います。大学生になってからも子どもと関わりたいと思い、アルバイトを探していた時に学習支援やこども食堂をしているNPO法人アスイクを知り、1年間活動をしていました。これからも子どもに関わる活動をしていきたいと考えています。

佐藤 諒^{りょう}さん (在籍2010年8月～2016年3月)



エステバンに入ったのは、小学生の時に参加したキャンプがきっかけです。お兄さんお姉さんが生き生きと活動している姿にあこがれました。最初は見よう見まねでしたが、続けているうちに臨機応変に対応できる

ようになりました。活動はいつも楽しく、仲間や子どもたちなどさまざまな人との出会いがありました。学校では得られない貴重な経験ができて、とてもやりがいを感じました。

子どもたちと関わることが好きなので、現在もシニアリーダーサークル「ZEST」やみやぎ少年の家協会、OBとしてエステバンの活動にも関わっています。

北野 佑樹^{ゆうき}さん (在籍2003年8月～2009年3月 24代会長)



エステバンで活動していた兄の影響で参加しました。大学生の時には、活動を通してスタッフと仲良くなった多賀城市民スポーツクラブでアルバイトをし、現在はエステバンを支える立場になりたいと思い、多賀城市役所で働いています。

メンバーには学校ではうまく自分を表現できない子もいました。しかし活動を通して各々が力を発揮できたと、自分の居場所だと感じるようになっていきました。私自身も活動を通して前向きで社会的になりました。

今の中高生たちにはぜひ、やりたいことを隠さずに全て出してほしいと思っています。大人とも、時にはケンカしたとしても本音でしっかり向き合ってください。

エステバンの活動は、子どもたちにとって成長の場であるとともに、学校や家庭とはまた違った活躍の場となっています。こうして地域の中で育ったメンバーたちは、地域で活躍する人材となってそれぞれのフィールドで活躍しています。

これまでのtagでも紹介しました！

- 2013年7月 vol.7 子どもたちのリーダー その名も・・・「エステバン」
- 2014年8月 vol.20 多賀城期待の新世代
- 2016年1月 vol.37 若者の視点で地域の防災「再」チェック



エステバンを卒業してもOBたちは仲が良いみたいだよ。仲間づくりにもなっているんだね。

What's ? //



「tag」には、多賀城 (tagajo) の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ (価値) をつける、という意味が込められています。



@tagasapo
たがさぽのツイッターへの
フォローをお願いします！



<http://www.tagasapo.org/>
2018年4月にリニューアル！
「たがさぽ」のホームページはこちら